

第 11 回 (2009 年 12 月 16 日). 「エイズ孤児へのコミュニティ支援と援助の狭間」 課題
Thurman, Tonya Renee, Leslie A. Snider, Neil W Boris, Edward Kalisa, Laetitia Nyirazinyoye, Lisanne Brown
(2008) “Barriers to the community support of orphans and vulnerable youth in Rwanda”
Social Science and Medicine 66:1557-1567.

有本 寛

2009 年 11 月 18 日

1. 報告者への課題

- (必須) Abstract, Introduction, Discussion を読み, 背景, 課題と方法, 結果を解説すること.
- (必須) 近年の HIV/AIDS の動向とエイズ孤児について調べて報告すること.
- (発展) Results を読み, Table 2 を解説すること.

2. 課題と方法

- 研究の目的と課題は十分に明記されていないが, Introduction の最後の部分 (p.1558), Methods (analysis)の最初の段落 (p.1560) あたりを参照のこと.
- この研究では, フォーカス・グループ・ディスカッション (FGD) と量的調査・統計分析の 2 つの手法を用いている. まず FGD によって孤児に対する支援の限界と孤児の孤立 (marginalization) を規定する要因の探求と理解に努め, 続いてそれらを反映する量的データを収集し, そのデータに基づいて回帰分析にかけるというステップになっている.
- FGD とはどのような手法なのか調べて解説し (ネット情報ではなく必ず本や論文を参照すること. 出典を明記すること), ここではどのような対象にどのような調査・インタビューをおこなったのか整理すること.

3. 結果

- 質的調査の結果特定された 4 つの要因について解説してください. これらの結果から, 孤児の孤立についてどのようなことがいえるか?
- Table 2 の分析について解説してください. 被説明変数, 説明変数など.

4. ディスカッション課題

- 本研究の結果を踏まえて, 有効な孤児の支援策を考えてください.

5. 用語

- Principal component analysis: 主成分分析. 特に解説しなくてもよい.